

平成29年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol. 23 平成29年9月8日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

皆様、少し秋めいた気候に変わりつつある今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、くらし部会のワーキングの一つである、生活介護事業者連絡会から報告をさせていただきます。

このワーキングは、これまで生活介護の事業者の情報交換の場がなかったことから、忌憚のない情報交換の場を設けようと発足したワーキングです。同種のサービスで、共通の悩み事や困り事等を、最大公約数的に洗い出そうとしましたが、同じ生活介護と言えども、職場環境、利用者の方、一人ひとりの障害特性の違いなどから、一様ではなく、改めて生活介護というサービスの曖昧さと、範疇の広さ、個別支援度の高さを再認識するに至りました。

そんな中、支援の項目や幅を増やし、利用者の方により豊かな日中生活を送っていただくために何が出来るかという話になり、違う分野、違った視点からの気付きやアドバイスがあればよいのではないかと云う結論に至ったことから、神戸学院大学で教鞭をとっておられる、作業療法士の塚原正志先生と森川孝子先生にもワーキングにご参加いただくことになりました。既に生活介護事業というサービスのイメージを共有するため、いくつかの事業所を見学していただき、作業療法が日々の支援の中に介入できそうなイメージを持っていただいています。

今後は、試験的に少し長いスパンで介入して頂き、新たな気づきや、支援のポイント等を助言、提案頂く様な仕組み作りに取り組んでいこうと考えています。この取り組みでどのような成果が得られるかは未知数ですが、事業所だけで取り組むことが難しい支援課題に対して、作業療法士などの専門職が介入する事業所支援の仕組みが出来れば、事業所での支援や専門性の向上につながるのではないかと思います。一足飛びに物事は進まないと思いますが、良い支援、質の高い支援、支援者が楽しんで取り組む事の出来る職場づくりの一助になればと考えています。

ワーキングの様子



第1回 5月19日



第2回 8月18日